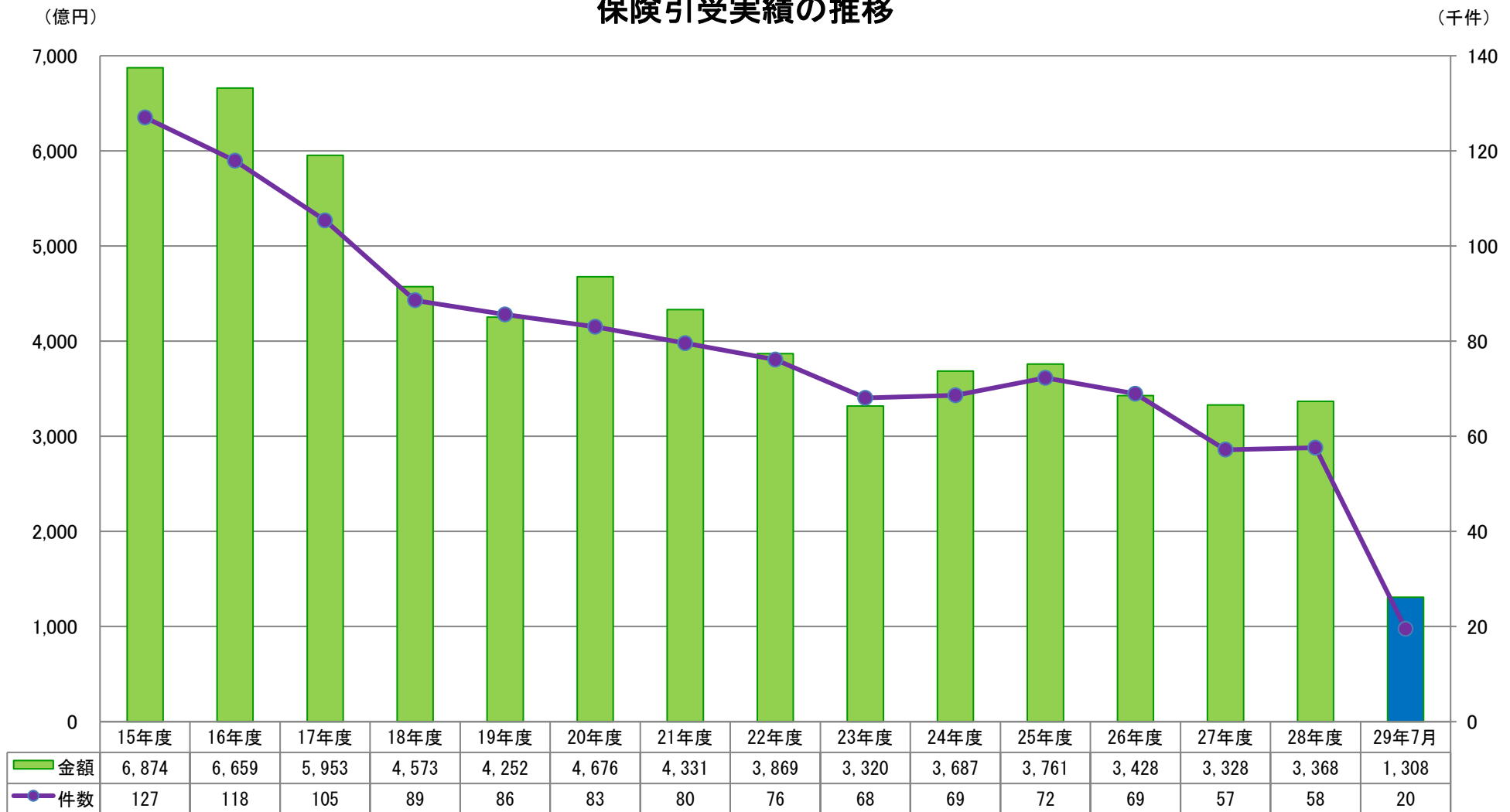


# 平成28年度保険事業実績の概要 (農業信用保険業務)

平成29年10月10日

独立行政法人農林漁業信用基金

## 保険引受実績の推移

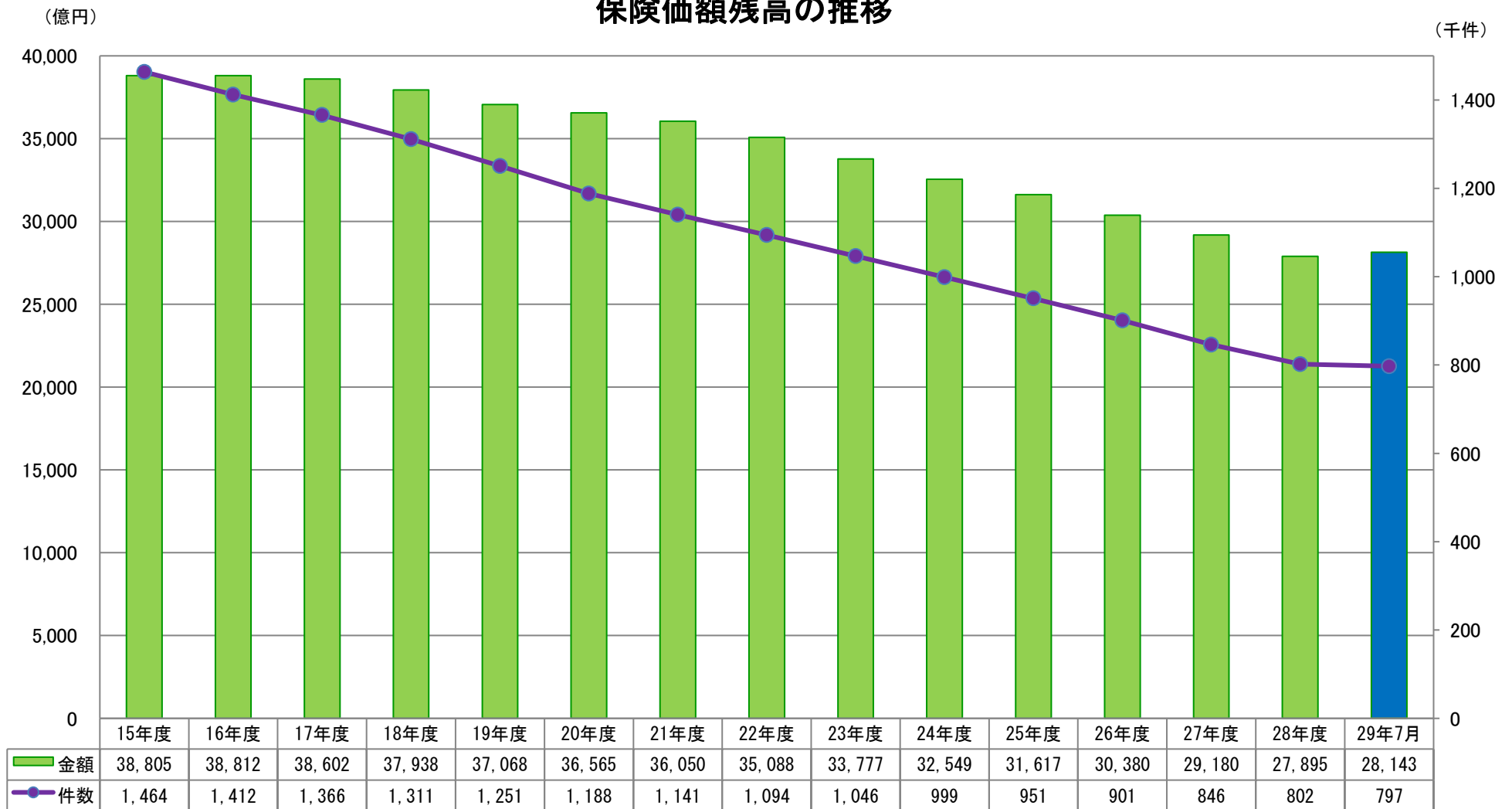


(注) 件数及び金額は、各年度の年間の実績である。29年7月は、29年4月から7月までの実績である。

28年度の保険引受は、57,577件・3,368億円で、前年度実績に比べ、件数では397件（0.7%）、金額は39億円（1.2%）の増加。保険引受は、農家戸数の減少、農業者の高齢化等により、資金需要が減少していることから長期的には逡減傾向にあるが、28年度は微増となった。

なお、29年7月末現在の保険引受は、前年同期比54.1%増の1,308億円である。

### 保険価額残高の推移



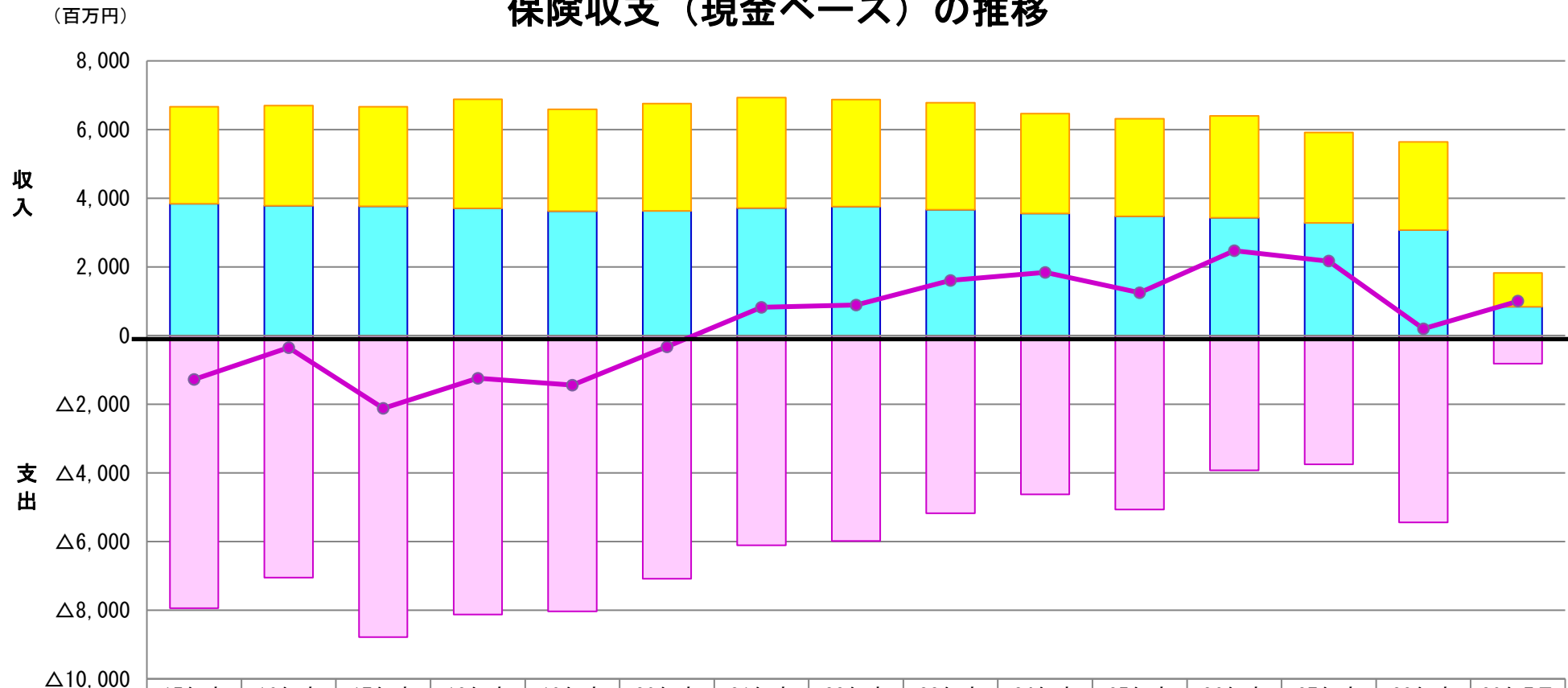
(注) 件数及び金額は、各年度末現在の実績である。29年7月は、29年7月末現在である。

28年度末（29年3月現在）の保険価額残高は、80万1,940件・2兆7,895億円で、前年度末実績に比べ、件数で4万4,295件（5.2%）、金額では1,286億円（4.4%）減少した。保険引受額が逡減傾向にあることから、保険価額残高も逡減傾向にある。

なお、29年7月末現在の保険価額残高は、前年同期比2.4%減の2兆8,143億円である。

(3) 保険収支の状況  
(保険料収入、回収金収入、保険金支払)

保険収支（現金ベース）の推移



	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年7月
△ 保険金	△7,943	△7,054	△8,787	△8,127	△8,034	△7,084	△6,114	△5,986	△5,176	△4,628	△5,071	△3,926	△3,749	△5,441	△821
■ 回収金	2,821	2,917	2,900	3,178	2,963	3,124	3,222	3,118	3,119	2,910	2,848	2,963	2,637	2,561	982
■ 保険料	3,842	3,783	3,765	3,704	3,623	3,633	3,711	3,757	3,660	3,557	3,469	3,433	3,278	3,075	839
● 保険収支	△1,280	△354	△2,121	△1,246	△1,447	△327	819	889	1,604	1,839	1,245	2,471	2,167	195	1,000

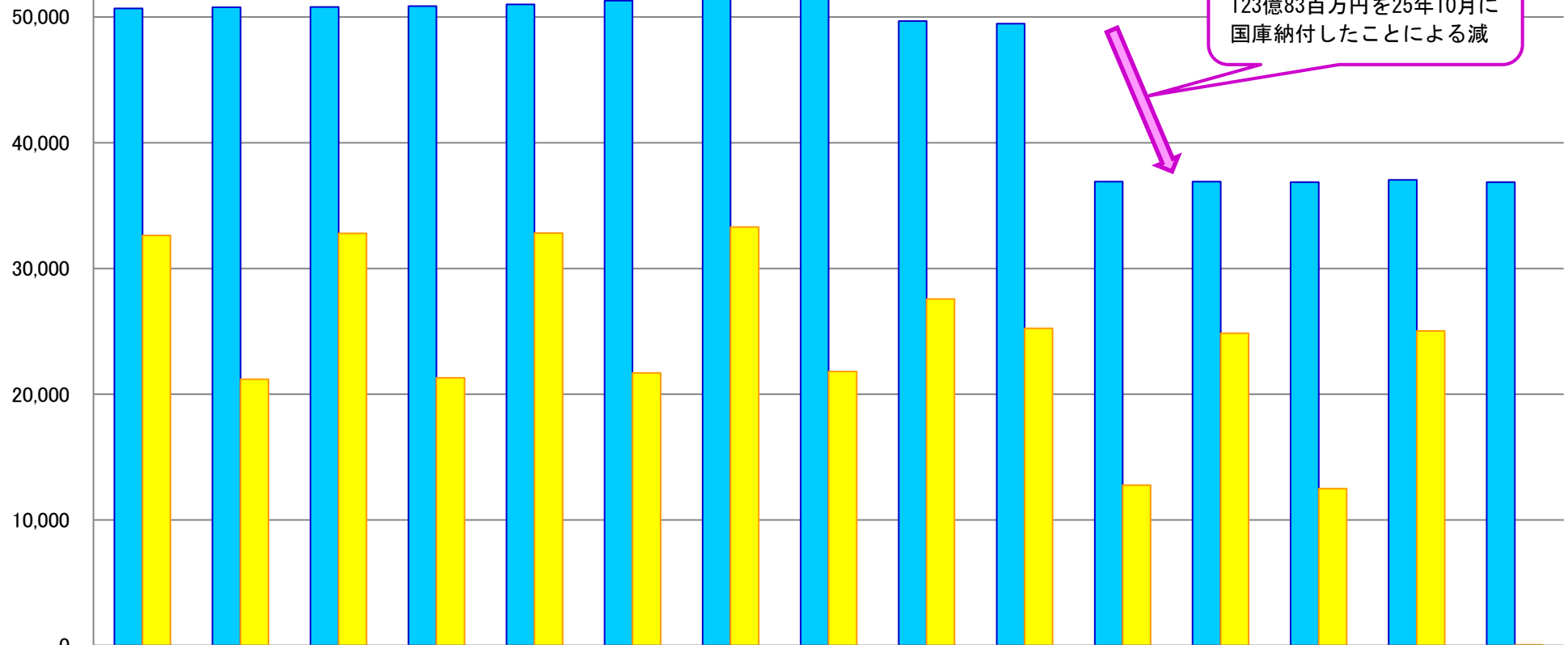
(注) 各年度の年間の実績である。29年7月は、29年4月から7月までの実績である。

28年度の保険料収入は30億75百万円（前年度比6.2%減）、回収金収入は25億61百万円（前年度比2.9%減）で、これら収入合計は56億36百万円となった。対して支出の保険金支払は54億41百万円（前年度比45.1%増）となった。この結果、当該年度における保険料収入と回収金収入の合計から保険金支払を差し引いた「保険収支」は、1億95百万円の黒字となった。

保険収支は、10年度から20年度までは赤字であったが、保険金支払が17年度をピークに減少に転じたことから、21年度以降は黒字で推移している。

### 基金協会に対する貸付けの推移

(百万円)



貸付原資である政府出資金  
123億83百万円を25年10月に  
国庫納付したことによる減

	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年7月
■貸付残高	50,675	50,779	50,781	50,867	50,993	51,289	51,486	51,450	49,675	49,456	36,899	36,914	36,852	37,043	36,861
■貸付額	32,625	21,180	32,778	21,304	32,813	21,689	33,279	21,806	27,560	25,232	12,773	24,843	12,498	25,018	67

(注) 1. 貸付額は各年度の年間の実績である。29年7月は、29年4月から7月までの実績である。2. 貸付残高は、各年度末現在の実績である。29年7月は、29年7月末現在である。

28年度の農業信用基金協会に対する貸付けは250億18百万円である。

貸付けは2年ごとに償還額とほぼ同額を再貸付しているところ。25年度は、24年度末の貸付残高495億円のうち123億83百万円が会計検査院により不要と見込まれると指摘されたことから、25年度に償還された23年度の貸付額246億57百万円から123億83百万円を国庫納付した結果、125億57百万円残高が減少した。